

成人急性リンパ芽球性白血病におけるトランスクリプトーム解析(JALSG ALL2020-EWS)に関する情報公開

1. 研究の対象

2002年～2010年に25歳以上（発症時）の急性リンパ性白血病（ALL）に対して行われた JALSG ALL-2020 試験への登録症例で、登録時に随伴研究「ALL の病型診断および病態解明のための遺伝子研究」への参加と残余検体の保存にご同意いただいている方。

2. 研究目的・方法

【研究の目的】 成人 ALL の発症の原因となる遺伝子異常、及び重篤な有害事象の発症につながる遺伝子多型性を調べるために行います。この研究の成果が ALL の発症の原因の解明や、治療反応の予測、重大な副作用の発生の予測に役立つ可能性があります。

【研究の方法】 上記の随伴研究にご同意いただいている方は登録時に白血病細胞の遺伝子を抽出、保存させていただいております。今回の研究では登録当時は開発されていなかった技術を用いて、抽出されている遺伝子全ての異常を網羅的に調べさせていただきます。調べられた遺伝子の異常の有無と、治療への反応性、副作用の重症度などの臨床情報を合わせて解析し、遺伝子の異常とこれらの関係を調べます。

【研究期間】 2015年7月16日から2020年7月15日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液等の検査結果、治療歴、副作用等の発生状況、治療効果等

試料：初診時白血病細胞より抽出した mRNA、骨髄病理標本

4. 外部への試料・情報の提供

今回の研究では ALL202-0 研究で収集した臨床情報と遺伝子検体に新たな匿名化番号を割り振り、提供を行います。新たな匿名化番号と、臨床情報／遺伝子検体の対応表は破棄されています。

5. 研究組織

研究事務局：名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学（研究責任者：早川文彦）
遺伝子変異解析機関：東京大学医学系研究科ゲノム医学講座（実施責任者：間野博行）、
名古屋医療センター臨床研究センター臨床研究事業部 生体情報解析室（実施責任者：安田貴彦）

データセンター：金沢大学大学院医学系研究科病態検査学（管理責任者：大竹茂樹）

検体提出機関：JALSGALL202-0 研究に参加した病院 80 施設 JALSG ホームページ
<http://www.jalsg.jp/jalsg-list> 参照

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

名古屋大学医学部附属病院
名古屋市昭和区鶴舞町 65
電話 : 052-741-2111
研究責任者 : 血液内科 早川文彦

研究代表者 :

名古屋大学医学部附属病院
名古屋市昭和区鶴舞町 65
電話 : 052-741-2111
血液内科 早川文彦